

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	目白大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メジロダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310102886
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	キャリア研修 I
	学部・研究科等名	心理学部、人間学部、社会学部、メディア学部、経営学部、外国語学部
	担当教職員名・役職	牛山 佳菜代:教授
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	22
	受入企業等数	2
	受入企業等名	株式会社スピードリンクジャパン、株式会社ウィナス
	産学協議会の整理上の類型	2.タイプ2(キャリア教育)
	キャリア形成支援活動の分類	6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	グループでの自身の役割を明確にし、働くとはどういうことかを身に着けるため、架空のテーマではなく企業の実際の業務内容に沿った課題解決ワークを実施している。また、オンラインでのワークの際も朝礼・終礼を行い、服装はビジネスカジュアル着用・日報を必須としており、「社会人として毎日同じ時間に働くこと」を意識し、仕事の実際を知るための職業体験となっている。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部1~2年次の低学年を対象としている。キャリア教育科目・選択科目として、休業期間中に実施し、2単位を付与する。本科目では経済産業省の推奨する社会人基礎力が身につくようにプログラム設計がされている。

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	学生に対して、「ビノベーションレポート」という適性検査を行い、その結果をもとにチーム分けを行う。また結果を学生同士で共有しあい、他己理解に役立っている。	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	成果発表会を行い、自身の振り返りだけでなく仲間が感じていたことを聞いたりグループ全体の振り返りを発表する場を設けている。また3年次に20分間の個人面談を行いアフターフォローを行っている。	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前学習より以前の履修登録説明会においてシラバスに則り、この授業の実施目的や期待する教育的効果について伝え、理解を促している。また、事前学習1日目において個人・グループの目標設定や行動計画等の策定を行っている。2日目には受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。また、毎日の日報はポータルサイト上にUPすることで他の履修者の総括も閲覧できる体制を取り、お互いの考えが共有できる仕組みを作っている。また成果発表会では、自身の振り返りだけでなく仲間が感じていたことを聞いたりグループ全体の振り返りを発表することで「社会人基礎力」の「チームで働く力」を引き出すように設計されている。	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	教職員が適宜ワークショップに参加し、学生の心身の様子を見守り、不良のものには休み時間に声掛けを行い、面談を実施している。	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み			
4-3.上記回答内容に関する詳細		「キャリア意識の発達に関する効果測定テスト(CAVT)」テストを導入し、学生の意識が当該科目の前後でどう変わったか効果測定を行っている。また履修後の成績に変化があったが随時チェックし追跡調査を行っている。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
		3.複数の企業等において就業体験を実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
		4.その他
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	事前研修2日+実施1.5日+中間学習0.5日+実施2日+事後1日+成果発表会1日
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	2社で実施。1社は1.5～2日
5-2.「4.その他」の実施期間の内容	1社目と2社目の間に中間学習を行い、自身が事前学習で立てた目標に対する到達度を確認し、再度の目標設定の日を半日設定している。	
5-3.上記回答内容に関する詳細	事前2日+実施は2社で、1社は1.5～2日+中間学習0.5日+事後1日+成果発表会1日の計8日の実施とし、日々の報告書は対象の学生が参加しているポータルサイトにアップし、お互いが確認できる仕組みを作っている。また、1社目と2社目の間に中間学習と位置づけた振り返り、再度の目標設定の日を半日設定している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している	
	7.その他	
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	履修前説明会を学生に向けて共同実施し、教育目的を共有している。	
6-3.上記回答内容に関する詳細	企業担当者も協力してプログラムを設計し、履修前説明会、事前・事後学習にも参画している。また性格適性を行ったうえでチーム分けを協働企業と共に行い、学生の資質を把握したうえで、目標達成に導くために必要な支援を行っている。また、企業が学生に求める人材を伺い、評価シートに反映している。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://pwb.meiuro.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusSansho/UI/WSL_SyllabusSansho.aspx?P1=30175&amp;P2=2023&amp;P3=20230401">https://pwb.meiuro.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusSansho/UI/WSL_SyllabusSansho.aspx?P1=30175&amp;P2=2023&amp;P3=20230401</a>	
問い合わせ先	大学等名	目白大学
	担当部署名	就職支援部
	担当者役職名	就職支援部長
	担当者氏名	鈴木あ久利
	電話番号	03-5996-3124
	メールアドレス	<a href="mailto:colshinro@meiuro.ac.jp">colshinro@meiuro.ac.jp</a>